

* 産科・婦人科 * スタッフのご紹介 *



副院長/産科・婦人科主任部長
石田 友彦 (いしだ ともひこ)

- 専門分野
 - ・周産期医学
 - ・不妊症
 - ・婦人科腹腔鏡
- 専門医認定/資格など
 - ・日本産科婦人科学会専門医/指導医
 - ・産婦人科内視鏡学会技術認定医
 - ・東京都医師会(東京産婦人科医会) 母体保護法指定医
 - ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
 - ・日本女性医学会指導医
 - ・日本医師会認定健康スポーツ医



母子健康相談室室長
大橋 浩文 (おおはし ひろふみ)

- 専門分野
 - ・産婦人科
 - ・婦人科病理細胞診
- 専門医認定/資格など
 - ・日本産科婦人科学会専門医/指導医
 - ・東京都医師会(東京産婦人科医会) 母体保護法指定医
 - ・日本臨床細胞学会専門医

産科・婦人科医長
阿部 一也 (あべ かずや)

- 専門分野
 - ・産婦人科
- 専門医認定/資格など
 - ・日本産科婦人科学会専門医
 - ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース
 - ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
 - ・厚生労働省 臨床研修指導医養成講習会修了

産科・婦人科医長
都築 まどか (つづき まどか)

- 専門分野
 - ・産婦人科
- 専門医認定/資格など
 - ・日本産科婦人科学会専門医
 - ・日本周産期・新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児)
 - ・日本産科婦人科学会 女性のヘルスケアアドバイザー養成プログラム修了
 - ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
 - ・厚生労働省 臨床研修指導医養成講習会修了
 - ・公益財団法人日本医療機能評価機構 CVC研修会修了

医員
田窪 伸一郎 (たくぼ しんいちろう)

- 専門分野
 - ・産婦人科

医員
間瀬 徳光 (ませ のりみつ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

○ 専門医認定/資格など

- ・日本産科婦人科学会・日本専門医機構 専門医/指導医
- ・日本周産期・新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児)
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・国際認定ラクテーション・コンサルタント (IBCLC)
- ・JMELSベーシック・インストラクター
- ・周産期医療支援機構 ALSOプロバイダーコース修了
- ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース
- ・厚生労働省 臨床研修指導医養成講習会修了
- ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

医員
長谷川 澄子 (はせがわ すみこ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

○ 専門医認定/資格など

- ・日本産科婦人科学会専門医
- ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース
- ・日本性感染症学会専門医

医員
山本 雅恵 (やまもと まさえ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

○ 専門医認定/資格など

- ・日本産科婦人科学会専門医
- ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・産婦人科内視鏡学会 腹腔鏡下技術認定医
- ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

医員
友坂 真理子 (ともさか まりこ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

○ 専門医認定/資格など

- ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース修了認定
- ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

医員
佐賀 絵美 (さが えみ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

○ 専門医認定/資格など

- ・日本産科婦人科学会専門医
- ・周産期医療支援機構 ALSOプロバイダーコース修了
- ・日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース
- ・厚生労働省 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

医員
石井 理津子 (いしい りつこ)

- 専門分野
 - ・産婦人科

病院・介護施設選びに困ったら
二次検査(再検査・精密検査)の病院選びに困ったら
イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ!



STEP 1
相談

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を! 相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2
情報提供

IMSグループ医療機関の選定 医療機関・制度などの情報提供。GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など

STEP 3
受診決定

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定!
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・対象者さま基本情報等の連絡
【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

メールでカンタン!
IMSグループ病院での受診相談(無料)

gscenter@ims.gr.jp

○ 右のQRコードをご利用いただくと便利です。
○ 24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

0800-800-1632

※[050]からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間/平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
http://www.ims.gr.jp/gscenter/

板橋中央総合病院 地域広報誌
PLAZA IMS(プラザイムス) Vol.57 秋号
発行:板橋中央総合病院 企画広報室
発行日:2019年11月
IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会
板橋中央総合病院
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
TEL.03(3967)1181

— 理念 —
安全で最適な医療を提供し、
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

〈基本方針〉 Fundamental Purpose

1. 二次救急指定病院として「断らない医療」を提供するために全力を尽くす。
2. 地域中核病院として地域連携を強化し、紹介・逆紹介に注力して地域包括ケアシステムに貢献する。
3. IMSグループ基幹病院として接遇マネーとコミュニケーション能力を備えた職員を育成する。



プラザイムス 秋号 Vol.57
板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

産科・婦人科のご紹介

ごあいさつ



当科は板橋中央総合病院開設時より60年以上の歴史があります。これまでに5万人以上の産婦さんが出産されました。最近では3世代に渡り、当院で出産された方もおり、大変喜ばしいことです。これからも、この伝統に恥じないように進んでまいりたいと思います。

わが国は超高齢化時代となり、65歳以上人口は3500万人を超え、総人口に占める割合は28.5%に上っております。その一方で少子化も進み続け、2016年には出生数が100万人を割り、その後も減り続け、2020年には90万を切りそうな情勢です。また、1人の女性が生涯に産む子供の数にあたる合計特殊出生率は1.42まで低下しています。そのため、分娩の形態も変化してきています。出産にあたっては安全が第一であります。一昔前は安価であることが出産する病院の選択肢になっていましたが、生涯で2人も出産しない時代では食事が良い・部屋は個室できれい・エステのような産後のサービスなど価値観にも変化があり、多少値が張ってもかまわないというご夫婦が増えてまいりました。そのため、私たちも、その変化に対応する必要が出てきました。

時代も令和になり、新たな気持ちで、新しい取り組みに着手しています。その一環としての取り組みを後述しておりますので、ご参考になれば幸いに存じます。これからも地域に根差し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する理念を全うしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

副院長/産科・婦人科主任部長
いしだ ともひこ
石田 友彦

産科・婦人科のご紹介

現在、当科は常勤医11名(うち2名が産休)と4名の非常勤医で診療を行っています。11名のうち、女性医師は6名です。

産婦人科と一口に言っても、産科疾患(分娩)・不妊症・婦人科腫瘍(良性・悪性)・感染症・内分泌疾患(思春期・更年期)などさまざまな分野があります。都内には各疾患に比較的特化した病院も増えてきていますが、当院はほとんどすべての疾患に対応し、地域貢献に寄与したいと考えております。

産科領域の特徴としましては、出産時の24時間無料送迎サービス『かるがも号』、4次元(4D)超音波、児の将来に生じるかもしれない血液疾患や脳性まひなどの治療に有効な臍帯血保存などを以前より行っています。また、すでに始まっている後述にありますようなサービスのほか、産後ケアへの取り組みも準備しています。

婦人科領域では子宮筋腫に対するすべての治療を有しているのが、当院の特徴です。特に比較的侵襲の少ない集束超音波治療(Focused Ultrasound Surgery:FUS)や子宮動脈塞栓術(Uterine Artery Embolization:UAE)に関しましては、遠方からもたくさんの患者様に来院して頂いております。また、手術に関しましては、侵襲の少ない内視鏡治療(腹腔鏡・子宮鏡)に力を入れており、近隣で同じIMSグループの東京腎泌尿器センター大和病院と合わせますと都内でもトップクラスの症例数があります。悪性腫瘍治療(手術・化学療法・放射線療法)も内視鏡治療同様増加の一途をたどっています。

「人生100年時代」といわれるようになりましたが、考えてみますと女性の場合、おおむね人生の半分が閉経後ということになります。そのため、日本産科婦人科学会では更年期以降の女性の健康維持の必要を強く感じ、たくさんの試みがなされております。私たちも賛同し、力を入れております。

女性の診療科ではありますが、新生児から老年期まですべての時期の相談に乗ることもできますので、いつでもお気軽にお越しください。



婦人科内視鏡治療

病院の実力「婦人科内視鏡治療」
医療機関別2018年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	内視鏡手術 (件)	腹腔鏡 (件)	悪性腫瘍 (件)
慶応大	796	567	99
順天堂大	739	652	47
がん研有明	559	525	317
東京大	500	432	28
武蔵野赤十字	468	408	28
東邦大大森	452	383	3
四谷メディカルキューブ	450	439	0
昭和大	434	350	10
山王	371	230	6
日本医大	352	291	21
東京女子医大	325	268	7
日本大	311	216	0
慈恵医大	298	260	27
板橋中央総合	268	213	0
東京医大	267	180	6
東京腎泌尿器セ大和	262	121	0
杏林大	246	209	15
福城市立	244	169	0
三業	238	202	0
順天堂大東京江東高齢者医療セ	235	142	0
厚生中央	235	115	0
東京医科歯科大	216	167	10
永寿総合	206	127	0
東海大八王子	183	161	11
吉雲堂	165	152	14
荻窪	153	89	0
練馬総合	153	141	0
慈恵医大葛飾医療セ	132	127	10
昭和大江東豊洲	129	96	0
NTT東日本関東	115	82	8
大森赤十字	94	93	0
JCHO東京山手メディカルセ	91	67	0
北里研究所	91	72	0
順天堂大練馬	87	79	12
帝京大	75	66	3
こまざわレディースク	74	0	0
佐々総合	67	59	0
総合東京	67	50	0
杉山産婦人科新宿	58	0	0
国際医療福祉大三田	29	29	0
田舎調布オリ-レディースク	5	0	0
国立がん研究セ中央	4	4	0

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック

「[病院の実力] 婦人科内視鏡治療 開腹手術より負担少なく」
読売新聞 2019年9月1日付

産科病棟の取り組み

1 毎日の献立をリニューアル

献立写真

2 食器を全てリニューアル

3 午後のおやつを提供スタート

お祝い膳セット

4 お祝い膳の提供をスタート

環境

無料Wi-Fi開設

産科病棟限定でWi-Fiがご利用いただけるようになりました。
スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコンなどで無料でご利用いただけます。

産科・婦人科のホームページ

最新のお知らせや分娩予約状況などを掲載しておりますので、
右のQRコードからぜひご確認ください!